

仮想空間の演出技術競う

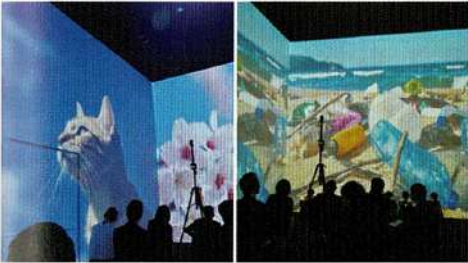
崇城大学IOT・AIセンター

崇城大学IOT・AIセンター（センター長・星合隆成情報学部教授）は7月28日、同センターを会場に、映像や動画作品による、仮想空間の演出技術を競う、メタバースコンテストを開催した。

IOT・AIなど、最先端技術を活用し、社会課題、地域課題を解決できる人材育成を目的に実施したもので、同大学から参加した28チーム（189人）の中から、予選を勝ち抜いた18チ

ームが、映像や動画作品を披露。審査の結果7チームが入賞した。

当日は、四季をテーマに環境問題や野良猫の視点を盛り込んだ作品などをチーム毎に出品。仮想空間デザインとスピリチ力を競った。審査の結果、上位7チームが崇城大学学長賞、熊本市北区長賞、肥後銀行賞、ジェイコム九州熊本局長賞、熊本日日新聞社長賞、IOT・AIセンター長賞、審査員特別賞の各賞を受賞した。



▲環境問題や、猫の視点を盛り込んだユニーク作品を披露



▲参加した18チームの中から7チームが入賞した